

没後10年特別企画

土本典昭特集

（土本典昭と同時代を生ききた仲間たち）



© 坂田誠史



© 坂田誠史



2018
6/16(土)~29(金)
at ポレポレ東中野

NORIAKI TSUCHIMOTO

想起して記憶してください！

あっと気がついたら10年もたっていました。

そう、土本典昭監督の存在がこの世から消えて。はっと思いました。

いつも空気のようにぼくらの傍らに存在していたので特に意識することはありませんでした。

残念と後顧でうろたえました。

“人間は二回死ぬ”という定言があります。

一度はその人の肉体的な存在が消滅すること。

二度目はその人の存在していたことが生きている人々の記憶から消えること。

記憶の喪失が本当の人間の死の意味でしょうか。

ここに没後10年を契機に、土本典昭作品を軸に、

そのもとで映画づくりの手法と思想を受け継いだ世代と共に、

没後10年記念上映会を開きたいと思います。

新たな語りと記憶を呼びもどし、豊かな土本典昭像をつむぎ出したいと思います。

記憶とは“想起”すること、思い出すことだから。

2018年3月1日 小池征人





※製作年順 ※上映素材は変更になる可能性があります

没後10年 特別企画

土本典昭特集

～ 土本典昭と同時代を生きる仲間たち～

土本典昭 (つちもと・のりあき)

記録映画作家。1928年岐阜県生まれ。

岩波映画製作所を経て、1963年『ある機関助手』でデビュー。

『ドキュメント 路上』『パルチザン前史』などを発表のち、

1970年代以降「水俣」シリーズ17本を連作。

『よみがえれカレース』などアフガニスタン関連作も3本を数える。

2008年6月24日逝去。

土本典昭作品

ある機関助手

1963年|37分|16mm→DVD|カラー
岩波映画製作所|監督:土本典昭

本来は国鉄当局が鉄道の安全性をPRする為に企画したものであったが、その安全性を担う機関助手の労働の過酷さが浮き彫りにされた問題作。

18(月)12:40



ドキュメント 路上

1964年|54分|35mm|モノクロ
東洋シネマ|監督:土本典昭

高度経済成長期、道路状況の悪化した東京のタクシー運転手の労働実態を追った作品。

18(月)12:40



留学生チュア・スイ・リン

1965年|51分|16mm|モノクロ
藤プロダクション|監督:土本典昭

国費留学生として来日したマレーシア系イギリス人留学生が、政府への抗議行動を起こした為、その身分を取り消され、除籍処分となってしまう。

20(水)12:50



水俣の子は生きている

1965年|25分|16mm→DVD|モノクロ
日本テレビ|監督:土本典昭

水俣病のケースワーカーとして実習に来た、ある女子短大生の1週間の記録を追いながら、土本典昭監督が水俣病とはじめて向き合った秀作。

16(土)10:20||25(月)10:20



パルチザン前史

1969年|120分|16mm→DVD|モノクロ
小川プロダクション|監督:土本典昭

活動家・滝田修の革命運動を追ったドキュメンタリー。彼の姿を通して60年代の学生運動が映し出される。撮影は天津幸四郎。

17(日)10:20



水俣 一患者さんとその世界ー 〈完全版〉

1971年|167分|35mm|モノクロ
東プロダクション|監督:土本典昭

世界各国で上映され、「水俣病」を世界に知らしめることになった記録映画の記念碑的作品。第1回世界環境映画祭グランプリ他受賞多数。

16(土)12:20



水俣 一患者さんとその世界ー 〈2時間版〉

1971年|120分|16mm→DVD|モノクロ
東プロダクション|監督:土本典昭

167分版の上映体験から、土本監督自らポジプリントを切って、2時間に再編集した作品。

29(金)10:20



水俣レポート1 実録 公調委

1973年|48分|16mm→DVD|モノクロ
青林舎|監督:土本典昭

公害等調整委員会は、判決前に和解を済ませた為、偽造書類まで受理していた。

19(火)13:00



水俣一揆 一生を問う人びと

1973年|108分|16mm→DVD|モノクロ
青林舎|監督:土本典昭

水俣病裁判判決の後、チッソ本社と水俣病患者との直接交渉をレポート。水俣病患者達の闘いの記録。

18(月)10:20||25(月)12:10



医学としての水俣病・三部作

16mm→DVD|カラー
青林舎|監督:土本典昭

医学者チームの研究と記録を網羅し、水俣病の医学を俯瞰した三部作。水俣病をわかりやすく解説し、今日に残されている医学的課題についても言及している。

第一部 資料・証言篇 1974年|82分 24(日)|10:20
第二部 病理・病像篇 1974年|103分 24(日)|12:40
第三部 臨床・疫学篇 1975年|91分 24(日)|15:30



不知火海

1975年|153分|16mm→DVD|カラー
青林舎|監督:土本典昭

有機水銀に汚染されながら、漁民を抱え続ける豊饒の海、不知火海。終わらない水俣の苦悩と甦りの希望を描く。

23(土)|10:20||28(木)|12:10



水俣病—その20年

1976年|43分|16mm→DVD|カラー
青林舎|監督:土本典昭

1956年の発見当初、奇病と恐れられ伝染病か中毒かも分からなかった水俣病。発生から裁判の最終までを解説したダイジェスト版。

16(土)|10:20||21(木)|10:20



わが街わが青春

—石川さゆり水俣熱唱—

1978年|43分|16mm→DVD|カラー
青林舎+東北新社|監督:土本典昭

胎児性水俣病の患者達も成人を迎えた。「大人として何ができるか」。20歳の水俣病患者達は石川さゆりショーを企画する。

19(火)|13:00||21(木)|12:50



偲ぶ・中野重治

—葬儀・告別式の記録— 1978年9月8日

1979年|55分|16mm→DVD|モノクロ
中野重治を偲ぶ映画人有志の会|監督:土本典昭

昭和に生きたプロレタリア文学作家、中野重治の葬儀・告別式を記録。知人、友人が思い出を語り、そこに代表作の朗読が流れる。

20(水)|12:50



海とお月さまたち

1980年|50分|35mm|カラー
日本記録映画研究所|監督:土本典昭

不知火海の漁師は潮の流れを読み、仕掛けを変える。そんな漁師と魚の知恵比べを、潮の満ち引きを支配する月が見守る。

21(木)|12:50



水俣の図・物語

1981年|111分|35mm|カラー
青林舎|監督:土本典昭

1979年晩秋、水俣湾のほとりで写生にとりかかる丸木位里・俊夫妻。広島への被爆の体験を「原爆の図」として描いた丸木夫妻が、「水俣の図」の制作に取り組むことになる。

27(水)|10:20||29(金)|12:50



原発切抜帖

1982年|45分|16mm→DVD|カラー
青林舎|監督:土本典昭

原発大国へと突き進む日本の戦後史を、1945年の広島原爆記事から新聞記事の早めくりだけで映像化した。語りは小沢潤一。

23(土)|13:20



はじけ鳳仙花 わが筑豊 わが朝鮮

1984年|48分|16mm→DVD|カラー
幻燈社|監督:土本典昭

筑豊炭坑の風景や労働者の姿を描き続けてきた画家・富山妙子。映画は富山による詩、画、劇中劇などを中心に構成され、ジャンルの超えた新鮮な表現となっている。

17(日)|13:00



海盗り 一下北半島・浜関根

1984年|103分|16mm→DVD|カラー
青林舎|監督:土本典昭

下北半島の関根浜を原子力船「むつ」の母港とするため、漁民から漁業権を奪おうとする国や県、原子力船事業団の「海盗り」の手口を克明に記録。

20(水)|10:20||26(火)|12:30



ひろしまを見たひと 原爆の図丸木美術館—

1985年|25分|スライド→DVD|カラー
原爆の図丸木美術館+青林舎|監督:土本典昭

丸木位里・丸木俊夫妻による「原爆の図」を中心とした画業を辿るスライド作品。冒頭とクライマックスには反戦のポップソング「99 Red Balloons」が高らかに流れる。

23(土)|13:20||27(水)|12:50



水俣病—その30年

1987年|43分|16mm→DVD|カラー
青林舎+シグロ|監督:土本典昭

水俣病は忘れ去られるのか。水俣病発生から30年目を迎えた水俣の記録。

21(木)|10:20||25(月)|10:20



ビデオ絵本 ひろしまのピカ

1987年|25分|16mm→DVD|カラー
シグロ+原爆の図丸木美術館|監督:土本典昭

「原爆の図」の絵本版ともいえる「ひろしまのピカ」を土本典昭の手によってビデオ化。単に悲惨さを訴えるにとどまらない平和への祈りがここにある。

17(日)|13:00||27(水)|12:50



よみがえれカレーズ

1989年|116分|16mm→DVD|カラー
シグロ+記録社
監督:土本典昭+熊谷博子+アブドゥル・ラティーフ

アフガニスタン紛争で傷ついた住民たちの姿を首都カブールをはじめ、ジャララバード、ヘラート等、広域の取材で記録したドキュメンタリー。

22(金)|12:30



回想・川本輝夫

—ミナマター井戸を掘ったひと—

1999年|42分|DVD|カラー
土本典昭仕事部屋|監督:土本典昭

この映画は故川本輝夫追悼集会の際に上映された「私家版」ビデオである。彼の半生の映像の集積であるとともに、「水俣病—その40年—」ともなっている。

28(木)|10:20



もうひとつのアフガニスタン ケーブル日記 1985年

2003年|42分|16mm→DVD|カラー
映画同人シネ・アソシエ|監督:土本典昭

アフガニスタンの近代で、最も人間らしい時代といわれた1985年の「民主共和国」時代の貴重な映像で綴ったドキュメンタリー。

22(金)|10:20



在りし日のケーブル博物館 1988年

2003年|32分|16mm→DVD|カラー
映画同人シネ・アソシエ|監督:土本典昭

1999年に破壊されたアフガニスタンのケーブル博物館の代表的文化財を撮影したドキュメンタリー。アフガニスタンの歴史と文化的側面に迫る。

22(金)|10:20



みなまた日記

2004年|100分|DVD|カラー
映画同人シネ・アソシエ|監督:土本典昭

1996年、水俣病患者の遺影を集める間に記録した水俣の人びと、魚、海、四季に自らの心象を重ねた作品。土本典昭の遺作。

19(火)|10:20||26(火)|10:20



“同時代を生きる仲間たち”作品

スピードトライアル

1966年|35分|16mm→DVD|カラー
岩波映画製作所|監督:土屋信篤

長時間にわたって超高速を持続する記録競技・スピードトライアルの世界記録を目指して、トヨタの2000GTが1966年10月に挑戦した全記録。製作、高木隆太郎。

21(木)15:30



黄色い傘の季節

1967年|16分|16mm→DVD|カラー
私家版|撮影:高木隆太郎

プロデューサー高木隆太郎が撮ったシネ・ポエム。身近な風景と、家族との時間。ある日、カメラを持ち込むと、そこにはいつもと違う「顔」が見えてくる。

21(木)15:30



沖縄列島

1969年|90分|35mm|モノクロ
東プロダクション|監督:東陽一

1968年沖縄。戦後23年が経過した沖縄をとりまくさまざまな現実。基地に閉まれた返還前の日常を鋭く深くとらえた問題作。

16(土)16:00



三里塚 辺田部落

1973年|146分|16mm→DVD|モノクロ
小川プロダクション|監督:小川紳介

成田闘争により消滅の危機を迎えようとしている辺田部落の、ありのままの姿を描く。

18(月)14:40



養護学校はあかんね!

1979年|50分|16mm→DVD|モノクロ
企画制作:市山隆次、構成:大石十三夫/山部伸貴

養護学校義務化の年、1979年1月、文部省前に義務化を阻止しようと集まった障害当事者を中心とする人たちの6日間の記録映画。

25(月)15:40



薬に病むークロロキン網膜症ー

1980年|107分|16mm→DVD|カラー
青林舎|監督:小池征人

クロロキンは抗マラリア薬としてドイツで開発され、日本では腎炎などの適応薬ともされた。しかし、クロロキンを使用した人たちに重篤な視覚障害が出始める。

17(日)15:30



街とトラック

1982年|53分|16mm|カラー
青林舎|監督:山田翼

物流を担うトラック輸送。公共性を持つ反面、排気ガス・振動・騒音などの“交通公害の元凶”とも。沿線住民とトラックドライバーの実情、さらにその対話をドキュメントする。

21(木)15:30



スライド 原爆の図 (ジュニア編)

1985年|15分|スライド→DVD|カラー
原爆の図丸木美術館+青林舎|監督:西村良平

丸木位里・丸木俊夫妻による「原爆の図」の第1部「幽霊」から15部「長崎の図」までをひとつひとつ解説する。

27(水)12:50



ウリナラ ソウルパリー東京

1986年|40分|16mm|カラー
記録社|監督:福田孝

「北のスパイ」の疑いでヨーロッパに住んでいた韓国人がKCIAによって韓国に拉致された「東ベルリン事件」の被害者・李應魯・朴仁景さん夫妻の亡命生活を追った作品。

26(火)15:00



ナージャの村

1997年|118分|35mm→DCP|カラー
ポレボレタイムス社|監督:本橋成一

チェルノブイリ原発事故で汚染されたベラルーシのドゥグチ村。故郷を離れず、汚染された村に残る6家族がいる。

19(火)15:30



三池 終わらない炭鉱の物語

2005年|103分|DVD|カラー
シグロ|監督:熊谷博子

「負の遺産」と呼ばれる三池炭鉱の廃坑跡。因人労働、強制連行、労働争議、炭鉱事故…しかし、そこで必死に生きた人たちがいる。

22(金)15:30



映画は生きものの記録である 土本典昭の仕事

2006年|94分|DVD|カラー
ビジュアルトラックス|監督:藤原敏史

水俣病の公式確認から50年を迎えた2006年、土本典昭は久々に訪れた水俣の海や自宅で自身の作品を振り返り、水俣への思いを語る。

29(金)15:30



あしかば 葦牙 一こどもが拓く未来一

2009年|113分|DVD|カラー
シネマナストJAPAN|監督:小池征人

岩手県盛岡市にある児童養護施設「みちのくみどり学園」は、盛岡市だけにとどまらず、岩手県のような地域と連携し、子どもたちの“こころ”の回復に取り組んでいる。

28(木)15:30



インタビュー

1996年7月14日記録映画作家土本典昭
2011年|100分|DVD|カラー|シグロ|監督:山上徹二郎

『よみがえれカレズ』製作の直後、アルコール依存症によって映画製作から遠ざかった土本典昭。その数年間の空白後、盟友・大津幸四郎と山上徹二郎によるインタビューを受け入れる。

23(土)15:30



ONE SHOT ONE KILL international Version

2011年|68分|DVD|カラー
森の映画社|監督:藤本幸久

人は人を殺せるようにはできていない。では、どうすれば普通の若者が戦場で人を殺せるようになるのか。米海兵隊ブートキャンプの12週間。

26(火)15:00



のさり

2014年|82分|DVD|カラー
製作・監督:西山正啓

舞台は、熊本県水俣市の漁村集落・茂道の「えびす」様。かつて漁師はそこを「魚湧く海」と呼んだ。水銀汚染がやって来るまでは。

20(水)15:30



アラヤシキの住人たち

2015年|117分|DCP|カラー
ポレボレタイムス社+ポレボレ東中野
監督:本橋成一

長野県小谷村。山道の向こうにふとあらわれる小さな村。そこに住む人たちの、春から春への暮らし。

27(水)15:20



16[土]	10:20	水俣の子は生きている [25分] 水俣病—その20年 [43分]	12:20	水俣—患者さんとその世界 (完全版) [167分] イベント①	16:00	沖縄列島 [90分] イベント②
17[日]	10:20	バルチザン前史 [120分]	13:00	ひろしまのピカ [25分] はげけ鳳仙花 [48分] イベント③	15:30	薬に悩む—クロロキン網膜症— [107分] イベント④
18[月]	10:20	水俣一揆 一生を問う人びと [108分]	12:40	ある機関助手 [37分] ドキュメント 路上 [54分]	14:40	三里塚 辺田部落 [146分] イベント⑤
19[火]	10:20	みなまた日記 [100分] イベント⑥	13:00	水俣レポート1 実録 公調委 [48分] わが街わが青春 [43分] イベント⑦	15:30	ナージャの村 [118分] イベント⑧
20[水]	10:20	海盗り—下北半島・浜関根 [103分]	12:50	留学生チュア・スイ・リン [51分] 偲ぶ・中野重治 [55分] イベント⑨	15:30	のざり [82分] イベント⑩
21[木] 高木隆太郎 命日	10:20	水俣病—その20年 [43分] 水俣病—その30年 [43分] イベント⑪	12:50	わが街わが青春 [43分] 海とお月さまたち [50分] イベント⑫	15:30	街とトラック [53分] 黄色い傘の季節 [16分] スピードトライアル [35分] イベント⑬
22[金]	10:20	もうひとつのアフガニスタン [42分] 在りし日のカーブル博物館 [32分]	12:30	よみがえれカレース [116分] イベント⑭	15:30	三池 終わらない炭鉱の物語 [103分] イベント⑮
23[土]	10:20	不知火海 [153分]	13:20	ひろしまを見たひと [25分] 原発切抜帖 [45分] イベント⑯	15:30	インタビュー 1996年7月14日記録映画作家土本典昭 [100分] イベント⑰
24[日] 土本典昭 命日	10:20	医学としての水俣病 第一部 資料・証言篇 [82分] イベント⑱	12:40	医学としての水俣病 第二部 病理・病像篇 [103分] イベント⑲	15:30	医学としての水俣病 第三部 臨床・疫学篇 [91分] イベント⑳
25[月]	10:20	水俣の子は生きている [25分] 水俣病—その30年 [43分]	12:10	水俣一揆 一生を問う人びと [108分] イベント㉑	15:40	養護学校はあかんねん! [50分] イベント㉒
26[火]	10:20	みなまた日記 [100分]	12:30	海盗り—下北半島・浜関根 [103分] イベント㉓	15:00	ウリナラ ソウル・バリ—東京 [40分] ONE SHOT ONE KILL [68分] イベント㉔
27[水]	10:20	水俣の図・物語 [111分]	12:50	ひろしまを見たひと [25分] 原爆の図 ジュニア編 [15分] ひろしまのピカ [25分] イベント㉕	15:20	アラヤシキの住人たち [117分] イベント㉖
28[木]	10:20	回想・川本輝夫 [42分] イベント㉗	12:10	不知火海 [153分] イベント㉘	15:30	あしかり 葎牙—こどもが拓く未来— [113分] イベント㉙
29[金]	10:20	水俣—患者さんとその世界 (2時間版) [120分]	12:50	水俣の図・物語 [111分] イベント㉚	15:30	映画は生きものの記録である 土本典昭の仕事 [94分] イベント㉛

イベント

※各日10:20の回上映前にミニ作品解説あり

- ① 6/16(土) 12:20の回 上映後 東陽一(映画監督)トーク
- ② 6/16(土) 16:00の回 上映前 東陽一(映画監督)作品解説
- ③ 6/17(日) 13:00の回 上映後 清水良雄(カメラマン)トーク
- ④ 6/17(日) 15:30の回 上映前 清水良雄(カメラマン)作品解説
- ⑤ 6/18(月) 14:10の回 上映後 伏屋博雄(neoneo編集室、元小川プロデューサー)トーク
- ⑥ 6/19(火) 10:20の回 上映後 土本基子(土本典昭夫人)トーク
- ⑦ 6/19(火) 13:00の回 上映後 一之瀬正史(カメラマン)トーク
- ⑧ 6/19(火) 15:30の回 上映前 一之瀬正史(カメラマン)作品解説
- ⑨ 6/20(水) 12:50の回 上映前 ミニ作品解説あり
- ⑩ 6/20(水) 15:30の回 上映後 西山正啓(映画監督)トーク
- ⑪ 6/21(木) 10:20の回 上映後 柳田耕一(元水俣病センター相恵社世話人)トーク
- ⑫ 6/21(木) 12:20の回 上映後 佐々木正明(シグロ製作)トーク
- ⑬ 6/21(木) 15:30の回 上映前 佐々木正明(シグロ製作)作品解説
- ⑭ 6/22(金) 12:30の回 上映後 熊谷博子(映像ジャーナリスト)トーク
- ⑮ 6/22(金) 15:30の回 上映前 熊谷博子(映像ジャーナリスト)作品解説
- ⑯ 6/23(土) 13:20の回 上映後 山上徹二郎(シグロ製作)トーク
- ⑰ 6/23(土) 15:30の回 上映前 山上徹二郎(シグロ製作)作品解説
- ⑱ 6/24(日) 10:20の回 上映後 有馬澄雄(水俣病研究会)トーク
- ⑲ 6/24(日) 12:40の回 上映後 有馬澄雄(水俣病研究会)×小池征人(映画監督)トーク
- ⑳ 6/24(日) 15:30の回 上映後 有馬澄雄(水俣病研究会)×一之瀬正史(カメラマン)トーク
- ㉑ 6/25(月) 12:10の回 上映後 実川悠太(水俣フォーラム 理事長)トーク
- ㉒ 6/25(月) 15:40の回 上映後 若月治(映画監督)×山仰伸貴(映画監督)×小田博(カメラマン)トーク
- ㉓ 6/26(火) 12:30の回 上映後 福田孝(映画監督)トーク
- ㉔ 6/26(火) 15:00の回 『ウリナラ』上映後 福田孝(映画監督)トーク
『ONE SHOT ONE KILL』上映後 藤本幸久(映画監督)トーク
- ㉕ 6/27(水) 12:50の回 上映後 本橋成一(写真家・映画監督)トーク
- ㉖ 6/27(水) 15:20の回 上映前 本橋成一(写真家・映画監督)作品解説
- ㉗ 6/28(木) 10:20の回 上映後 久保田好生(東京・水俣病を告発する会)トーク
- ㉘ 6/28(木) 12:10の回 上映後 小池征人(映画監督)トーク
- ㉙ 6/28(木) 15:30の回 上映前 小池征人(映画監督)作品解説
- ㉚ 6/29(金) 12:50の回 上映前 最首信(和光大学名誉教授)トーク
- ㉛ 6/29(金) 15:30の回 上映前 藤原敏史(映画監督)トーク

料金(税込)

前売:フリーパス(限定20枚) 20,000円/3回券 3,300円
当日:一般 1,500円/大学・専門・シニア(60歳以上) 1,200円
高校生以下 1,000円/3回券 3,300円



ポレポレ東中野

TEL 03 3371 0088
www.mmjp.or.jp/pole2/
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

